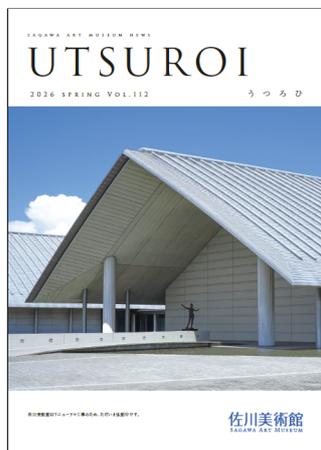
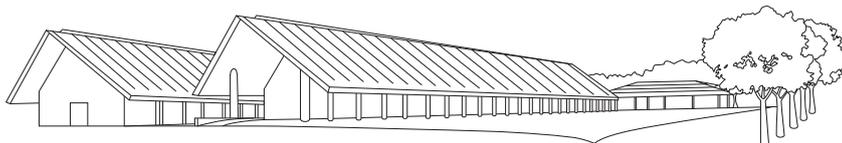


うつろひ VOL.112

リリースのおしらせ



佐川美術館友の会会員の方を対象に
年4回季刊誌を発行しております。
リニューアルオープンを控えた112号の巻頭では、
改修工事を経て新しくなる美術館の空間を特集しています。
耳寄り情報満載のその他コーナーもお見逃しなく！

目次

深#建築LABO リニューアル・オープン特別編	1-2
ART up	3
裏だけ収蔵品図鑑	PICK UP 4
SHIGART	5-6
教えてセンパイ！ / 【告知】 呈茶のご案内	PICK UP 7
佐川美術館の隠れた名品 / 美術館の旬	8
【告知】 友の会ツアー / 【告知】 千住博展	9-10
読者の声mini / アンケート	裏表紙

次のページで
ちょっとだけ紹介！

※現在、長期休館に伴い「友の会」新規入会・更新の受付は休止しております。
ご希望の方は2026年7月のリニューアルオープン後にお申し込みをお願いいたします。



今回、裏側を覗いてみる作品は…

佐藤忠良《たつろう》1950年

シベリア抑留から帰還して程なく、息子の達郎をモデルに制作した作品。シベリアでの体験から、我が子には「考えながらものをつくりだす仕事ができるような人間になってほしい」という願いが込められています。

裏だけ 収蔵品図鑑 #3

このコーナーでは絵画の裏面や、ブロンズ像の内側、茶碗の箱など、普段展示室では見ることができない作品の裏側をご紹介します。

今回は佐藤忠良のブロンズ像の隠れた一面に迫ります。

内側は…

空洞

ブロンズ像は中子(中型)に外型を重ね、その隙間に熱して溶かしたブロンズを流し込んで铸造するため、3~5mmほどの厚みで内部は空洞になっています。《たつろう》の目はくり抜いて表現されているため、瞳を覗くと中空であることがわかります。



台座から取り外した様子



Close-up



石の台座

頭像をはじめとする佐藤の小品は、安定させるために御影石や大理石の台座にボルトで固定されています。佐藤作品の台座には、黒や赤、ベージュなどの石が用いられる場合が多く、それぞれ異なる模様や質感が見られます。台座は立方体や円柱形など作品が一番引き立つように形作られています。

展示用台座

作品に元々付属している石の台座に加えて、佐川美術館では展示専用の木製の台座も使用しています。木製の台座は作品を鑑賞しやすい高さに設計されており、中には転倒や盗難を防止するための重りが入っています。グレーの塗装は作者が生前に指定した色で、定期的に塗り直しを行っています。



塗り直しの様子

とも ばこ 共箱

共箱とは作者の署名や落款が施された箱で、作品を保護するほか、真贋を証明する重要な手掛かりになります。《たつろう》のような小品には共箱が付属している例もありますが、ほとんどのブロンズ像には箱が作られないことが多く、代わりに「佐藤忠良の会」証明書や弟子の彫刻家・笹戸千津子による鑑定書が付属している場合もあります。



蓋の表には作品名、裏には制作年と署名、落款が施されている。

ワンポイント

MEMO

死後铸造

ブロンズ像は石膏製の原型を基に複数铸造できるため、原型があれば作者が亡くなった後も作品を世に出すことが可能です。こうした特性から、ブロンズ像は真作と複製品をいかに線引きするかという問題をはらんでおり、フランス国内法では原型から铸造できるのは最大12点と定めています。佐藤の場合は原則最大10点とし、限定数に達した原型は宮城県美術館へ寄贈して枠外や没後の铸造を行わない仕組みを作りました。こうした生前の取り組みも偽造防止に繋がっています。

教えて センプイ!

館内のイベントにも携わるようになってきた栗田さん。茶会を運営するにあたってギモンができたようです。

センプイ!

茶会の準備について
教えてください!

今回のセンプイ
井上さん

新人学芸員
栗田さん



茶会では季節を感じられるお菓子をご用意しています。「花筏」と名前をつけたお菓子を出した時は、展示室にハナイカダを生けました。



茶会に臨む心得は?

茶会において一番大切なことはお客様に参加してよかったと思っただけです。茶会という堅苦しい印象を持たれがちですが、本来茶席は「二座建立」といって、亭主と客が一体となり心地よい空間を共有する場所です。

茶会における決まり事や作法も大切ではありますが、まずはお客様に美味しくお茶を召し上がっていただき、その場が楽しいと感じていただけるように心掛けることが大切です。

当日の運営をスムーズに行うために、細やかな準備や配慮が大事であることがわかりました。今年度からは7年ぶりに茶会を開催します。ご参加いただく皆様に満足いただけるように頑張ります!



2026年度7月の
呈茶の日程が
決まりました!

二〇二六年 呈茶のご案内

リニューアルオープン記念
「ふるまい呈茶」

当館のリニューアルを記念して、
樂吉左衛門館ロビーにて
呈茶を開催します。
お気軽にご参加ください。

日時: 7月1日(水)

10~12時, 13~16時

定員: 200名

※先着順。当日、インフォメーション
カウンターにて茶券を配布します。

料金: 無料

入替制につき、
ご希望の時間に添えない
場合があります。

「水辺茶会」

リニューアルオープンを
記念して、
茶室広間にて茶会を
開催します。
水に浮かぶ茶室にて
和やかな雰囲気の中、
薄茶をお召し上がり
いただきます。

日時: 7月12日(日)

11時~13時, 15時~

定員: 各回10名(計30名)

※事前予約制。

料金: 8,000円

(友の会会員7,000円)

茶会の詳細につきましては、改めて
ホームページにて発表させていただきます。
※内容が一部変更になることがあ
りますので、予めご了承ください。



ギモン 1

道具選びの ポイントは?

一般的な茶会において道具を選ぶポイントは、テーマや季節感を意識することですが、当館の場合、樂直入の焼物を多用するため、銘や形などを考慮して選定しています。また、同じタイプの茶碗を使わないように、焼貫、黒樂、赤樂、フランスRAKUなど様々な種類の茶碗を選んで、それを基に会記※を作成しています。

※茶会の日時や使用する茶道具などを記したもので、茶会にとって大事な記録です。



茶会を開催するまで

半年前まで

茶会の企画
開催する時期やテーマを考える

3か月前

当日使用する茶道具の選定

2か月前

参加者の募集開始及び抽選

1か月前から

点前など当日の流れに基づいた
練習を担当毎に行う

1週間前から

抹茶などの必要なものを購入

前日

茶道具や花の準備と最終確認

茶会本番!



佐川美術館が主催する茶会は、企画から当日の運営まで全て美術館のスタッフがを行っています。